



土浦薪能

会長 完賀 浩光 幹事 栗野 哲雄

■ 例会場 L'AUBE kasumigaura
TEL.029-875-8888

■ 例会日時 火曜日 12:30～13:30

■ 事務局 土浦市真鍋1-2-6 金塚ビル3F
TEL 029-823-4524 FAX 029-869-9006

■ ホームページ <http://tsuchiura-south-rc.com>

■ Eメール t_minami@lapis.plala.or.jp

2024～2025年度
国際ロータリーテーマ



2024年9月10日 8号
2024年9月3日 第1例会報告



地区 HP



地区行事予定

- | | | | |
|-----------------------|-------------|-----------------|---------------------|
| 1. 点 鐘 | 完賀浩光会長 | 8. ニコニコ BOX の発表 | 米山忠康副 S A A |
| 2. 国歌及びロータリーソング斉唱 | | 9. 会員卓話 | |
| | (君が代・奉仕の理想) | | 「米山奨学の思い出」 |
| 3. 会長挨拶 | | | 米山記念奨学生 ニカ、アレクサンドル君 |
| 4. 米山記念奨学生紹介及び奨学金授与 | | 10. 出席状況報告 | 出席委員会 |
| 5. 幹事報告 | 栗野哲雄幹事 | 11. 点 鐘 | 完賀浩光会長 |
| 6. 9月お誕生日の会員及び配偶者のご紹介 | | 12. ロータリーソング斉唱 | |
| | 親睦活動委員会 | | (四つのテスト) |
| 7. 委員会報告 | | | (司会進行 吉田正一 S A A) |

本日のプログラム

地区委員の柴沼博之インターアクト委員、杉田一男 R L I 委員の卓話でございます。

次週のプログラム

9月17日(火)の例会は休会。24日(火)の例会は、つくば国際大学 東風高等学校 校長 大崎弘美様をお招き致します。

出席状況

会員数	出席数	出席免除	出席率	全員出席卓	3名以上欠席卓	メイクアップ	出席率訂正
名	名	名	%	卓	卓	名	%
87	63	7	73.26	5	4	5	79.07

【会長挨拶】

完 賀 浩 光 会長



皆さん、こんにちは。

台風一過。今日は名残の雨模様ですが、この地域は特に大きな被害もなく、良かったと安堵しています。

さて今月のR Iのテーマは基本的教育と識字率向上です。

UNICEF が発表した「世界子供白書 2023」によれば、若者（15～24歳）の識字率は世界平均で男子が93%、女子が91%です。これだけ見るとさほど大きな問題ではなさそうにも見えますが、人数で見ると、学校に通えない子供が約5800万人、読み書きのできない大人は約7億8100万人にも上ります。これらの課題解消に、私たちロータリークラブは積極的にコミットしています。特にロータリー財団の様々な支援は、それらの国の人々、まずは教育が必要な子供たちへの希望の光となっています。

国家100年の計は教育にありといわれますが、我が国でもその基礎教育力の高さが明治維新を生み、奇跡とも言われる戦後復興を支えました。世界中の子供たちの未来を少しでも明るくものとする、また貧困から自力で抜け出せる力とする『教育』。そのために私たちが出来ることをしていく姿勢を、日ごろから心がけたいものです。

また、現在イスラエルとパレスチナが紛争状態にありますが、その中のガザという地区でポリオが発生しました。停戦の交渉が暗礁に乗り上げた状態の中、今回のポリオ発生という危機に際して、イスラエルとイスラム原理主義組織ハマスは接種期間中、ガザでの戦闘の一時休止で合意しました。ポリオ撲滅の思いが両陣営を動かした。私は一筋の光明だと思いました。たった一滴のワクチンで防げたはずの小児麻痺を、もし子供が患ってしまえば、紛争地帯にあって、それは死を意味します。エンドポリオの取り組みは、ガザの子供たちにとって、未来を掛けた最後の砦です。ご存じの通りロータリーは、過去35年以上にわたりポリオ根絶活動を行ってきました。ポリオを世界からなくすという私たちの目標は今、達成まで本当にあと少しのところに来ています。

世界ポリオ根絶推進活動（GPEI）の立ち上げ当初からのパートナーとして、ロータリーは、1979年にフィリピンの子どもたちに予防接種を実施したときから始まったこのプログラムを通じ、ポリオの症例を99.9%まで減少させることに貢献してきました。

今年の2820地区のポリオデイベントは10月27日に笠間稲荷で行われます。皆さんの参加を願うとともに、エンドポリオに向けた取り組みへの温かいご支援を心よりお願い致します。

こういった財団も含めた、私たちのいわゆる奉仕部門の経費はそのほとんどすべてを、皆様からの浄財、つまりニコニコボックスからまかっています。しかしながらこのニコニコボックスの予算達成が年々難しくなっています。決してダイヤモンドや金でなくてはいけないということではありません。ちょっと良いこと、ちょっと幸せを感じたことがあったら、そのお裾分けといった感じで、どうかご協力ください。そのちょっとしたお裾分けが、多くの子供たちの命を救い、未来を輝かせることになります。

皆様のご協力を心よりお願いしまして、今月の挨拶とします。ご清聴ありがとうございます。今月もどうぞ宜しくお願い致します。

【米山記念奨学生紹介 及び奨学金授与】



【委員会報告】

創立 60 周年実行委員会

説 田 賢 哉 総務委員長

本日の 18 時から 3 階の会議室で実行委員会を開催いたします。

国際奉仕委員会

君 山 毅 委員長

大甲ロータリークラブへの訪問が近付いて参りました。奮ってのご参加をお待ちしております。

雑誌委員会

磯 山 貴 洋 委員長

ロータリーの友 9 月号では、特集が「基本的教育と識字率向上月間」となっています。是非
ご一読ください。

【卓 話】

米山奨学の思い出

米山記念奨学生 ニカ, アレクサンドル 君
(9 月で奨学期間が完了)



皆さん、こんにちは。

今日は米山奨学生として過ごした時間について発表させていただきます。ロータリークラブに在籍している間、杉田さんが私のカウンセラーとして指導してくださいました。

まず始めに、私の故郷について紹介させていただきます。私はカナダのキッチナーという町の出身です。皆さんはおそらくバンクーバーは知っていると思いますが、私の故郷はバンクーバーから約 4000km 離れています。私の故郷に最も近い大都市はトロントで、約 100km の距離にあります。

次に、私の学業について紹介させていただきます。私はカナダのウォータールー大学でナノ工学を専攻し、学士号を取得しました。学部生の間に、吉川先生の嗅覚センサグループで 6 ヶ月のインターンシップを行う機会に恵まれました。このグループでの時間がとても楽しかったので、国立材料科学研究所と筑波大学の共同プログラムに参加し、嗅覚センサグループで修士課程を修めることにしました。

私たちのグループ名は嗅覚センサグループで、人間の鼻に例えられるような化学センサを開発しています。五感の中で、視覚、触覚、聴覚にはカメラや触覚モーター、マイクやヘッドフォンのように、感覚を再現するための標準化されたデバイスがあります。しかし、化学的な感覚である味覚や嗅覚を再現する標準デバイスはまだ存在しません。そこで、私たちのグループは化学センサの開発に取り組んでいます。

私たちが開発している化学センサは膜型表面応力センサと呼ばれています。この装置は、緑色で示された受容体材料をセンサに塗布することで機能します。また、赤色で示された圧電材料も含まれています。この材料は機械的なストレスにさらされると電気信号を発生します。センサリングのメカニズムは、化学物質が受容体材料に付着し、センサ膜がランポリンのように変形することにあります。この変形によって機械的なストレスが発生し、電気信号が生成され、これを読み取ることができます。受容体材料は特定の化学物質を対象とするように変更することができるため、私たちのセンサは特定の化学物質を検出するために使われます。

私たちのセンサの応用は、医療、農業、産業の分野で見られます。たとえば、微量の危険な化学物質であるメタノールを検出するために使われています。

次に、私が日本での留学中に一番思い出深い出来事について紹介します。カナダから友人たちが日本に来て旅行する機会に恵まれました。私の大好きな日本を友人たちに紹介し、初めて本当の寿司と一緒に食べた思い出や、上高地や、明治神宮外苑スタジアムでスワローズの試合を観戦したことなど、日本を楽しんでもらうことができました。

また今年、私たちは米山奨学生のエキスカンションで東京の両国スタジアムで相撲を観に行きました。実は、これが私にとって初めてのライブスポーツ観戦であり、初めての相撲観戦でもありました。相撲を観るだけでなく、ちゃんこ鍋も美味しかったです。

最後に、私のカウンセラーである杉田さんとの思い出についてお話しさせていただきます。ロータリークラブでの時間や、美味しい食事を共にしたり、また落語を聴いたり、釣りをしたりと楽しみました。私が大切にしている思い出は、土浦の花火大会での経験です。花火そのものは非常に美しかったのですが、私が最も感動したのは、杉田さんのご家族にお会いし、まるでカナダの自分の家族と一緒にいるような温かい気持ちになったことです。杉田さん、本当に心から感謝しています。そしてロータリークラブで温かく迎えてくださった皆さんに感謝いたします。

